

### 奈良県立医科大学附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

下記の概要についてご確認いただき、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、情報を用いませんので、以下の「問合せ先」までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

下記の研究は、奈良県立医科大学医の倫理審査委員会（以下、「倫理審査委員会」と略します）で審査され、奈良県立医科大学学長の許可を得て行います。

① 研究課題名	<u>新規治療法の開発に向けた神経芽腫における T 細胞不活化分子 CD200 発現の臨床病理学的検討</u>			
② 研究期間	学長許可日（ 年 月 日）から 2026 年 12 月 31 日			
③ 対象患者	期間中に当院もしくは兵庫県立こども病院で手術を施行された神経芽腫症例			
④ 対象期間	2003 年 1 月 1 日 から 2023 年 3 月 31 日			
⑤ 研究機関の名称	奈良県立医科大学消化器・総合外科学講座			
⑥ 研究責任者	氏名	黒田 靖浩	所属	奈良県立医科大学消化器・総合外科学講座
⑦ 使用する試料・情報等	患者さんの診療情報として年齢、性別、血液検査データ（腫瘍マーカーなど）、原発巣、Stage 分類、病理診断、myc 遺伝子の有無、化学療法の有無、再発の有無、転帰			
⑧ 研究の概要	神経芽腫の高リスク症例に対しては化学療法、放射線療法、手術治療といった集学的治療が行われるが特に再発をきたした症例や化学療法抵抗性の難治症例には有効な治療法がなく、新規治療法の開発が期待されています。神経芽腫では成人消化器癌に比べ、腫瘍抗原が少なく、腫瘍内浸潤リンパ球が少ないという特徴があります。CD200と神経芽腫の臨床学的な関連を検証します。			
⑨ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	年 月 日		
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。 詳細な方法に関しては以下⑬の問い合わせ先・相談窓口にご連絡ください。			
⑪ 結果の公表	学会や論文等で公表します。個人が特定されることはありません。			

⑫ 個人情報の取扱い	カルテ ID や氏名などの個人情報を研究用 ID に置きかえて使用するため、あなたの個人情報が外部へ漏れることはありません。カルテ ID と研究 ID の対応表は厳重に研究責任者において管理されます。研究の成果は、学会や学術誌などで公表されますが、この場合も、個人が特定される情報が公開されることはありません。		
⑬ 問い合わせ先・相談窓口	奈良県立医科大学附属病院 消化器・総合外科 担当者：黒田靖浩		
	電話	0744-22-3051	FAX 0744-24-6866
⑭ 研究実施体制	Mail	<a href="mailto:surg-1@naramed-u.ac.jp">surg-1@naramed-u.ac.jp</a>	
	<研究代表機関> 研究代表者 奈良県立医科大学 消化器・総合外科 医員 黒田靖浩 <共同研究期間> 研究責任者 兵庫県立こども病院 小児外科 科長 畠山 理		